

葉山町クリーンセンター・環境課

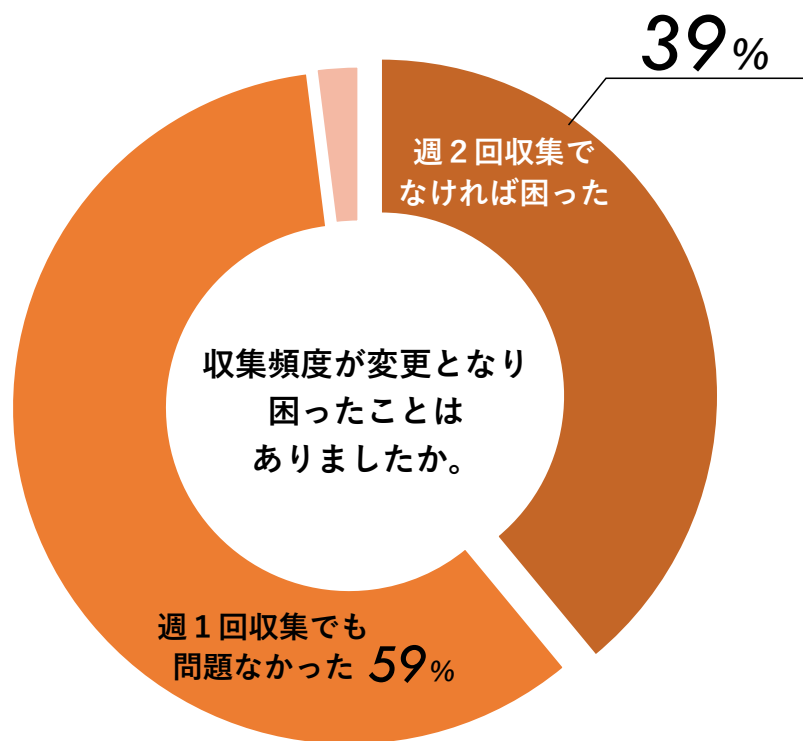
# 燃やすごみの収集回数変更に伴う 紙おむつ等の対応

# 紙おむつ等の保管や収集の課題について 令和7年9月までに解決します。

現状の整理.....	001	当町の状況.....	005
対象範囲.....	003	課題を解決するために.....	009
国や他自治体の状況.....	004	今後の予定（案）.....	010



## 現状の整理① 実証実験の結果から



### 一色台地区では

実証実験のアンケート調査において、全体の約40%の皆様が「週2回収集でなければ困った」と回答したことから、どのようなことでお困りなのか追加の聞き取り調査を行うと

- ・紙おむつが普段使用している45Lのごみ袋に収まらない。
- ・紙おむつが大量に出るので保管場所がない。
- ・ペットシーツを1日1枚使用するので保管場所に困る。

といったご意見を伺うことができました。

## 現状の整理②

### これまでの本町の取り組み



保管容器等のモニター調査

三ヶ浦地区・一色台地区の希望者と町立保育園に通っている世帯、延べ63世帯にごみ箱型・バケツ型の保管容器及び消臭剤を使用していただき、その効果と使用感を調査しました。「保管中に臭いは感じないですが開けるとどうしても臭いが気になった」「使用後は消臭効果を感じましたが持続性はあまりなかった」等の御意見もいただきましたが、一定の効果が認められました。

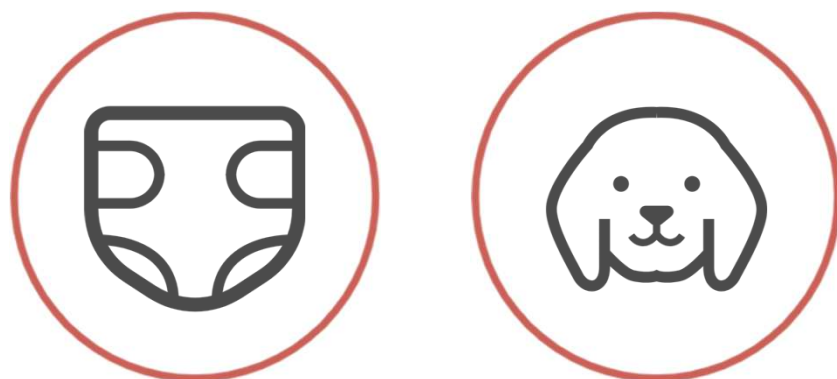


排出者からの聞き取り調査

介護世帯では、使用後の紙おむつをビニール袋で包み、さらに新聞紙で包むため2Lペットボトルほどの大きさとなることから、排出頻度及び排出量が多い時には写真のごみ箱だけでなく、3つ目のごみ箱を使用することもあるそうです。

# 「紙おむつ等」とは 紙おむつ及びペットシーツを対象とします

レジ袋や食品の容器などとは違って、紙おむつは使用量を減らすということは現実的に難しい問題です。それだけに先進的なリサイクルの取り組みを進める必要があります。



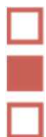
## 第四次循環型社会推進基本計画によると

2018年に閣議決定された本計画によると、概ね2025年度までに「高齢化に伴い大人用紙おむつの利用が増加することを踏まえ、使用済紙おむつのリサイクル技術等の調査、リサイクルに取り組む関係者への支援、リサイクルに関するガイドラインの策定等を行う。」という方針が示されています。

## ペット共生の先進自治体としてのあるべき姿

猫用の砂は技術革新によって、トイレに流して処分できる製品が増えていますが、犬用のトイレシーツは依然として燃やすごみでの排出することが一般的です。

ペット共生の先進自治体を目指す本町として、どの自治体も成し遂げていないペットシーツの収集・資源化を目指します。



# 国や他自治体における資源化への取組状況

## 環境省

環境省は資源化の検討・取組を行っている約40自治体から、2030年度までに100自治体へ拡大する目標を掲げています。

現在、紙おむつの再生利用に特化した補助を設けていませんが、2025年度にも予算を拡充し、自治体の紙おむつ回収ボックス導入への補助金など、取り組みの加速を検討しています。

## 鹿児島県 志布志市

日本における廃棄物処理の先進自治体は、2016年度にユニ・チャームと協定を締結し、紙おむつから取り出された紙パルプなどを新たな同じ製品の原材料にする「水平リサイクル」の実証に取り組んでいます。

ユニ・チャームはこの技術を他自治体にも広げられないか検討しています。

## 福岡県 大木町

生ごみ週2回・燃やすごみ週1回収集の大木町は、リサイクル事業者が町内に紙おむつ資源化施設を建設したことにより資源化が可能となったことから、平成23年度から拠点回収を開始しています。

約5,300世帯 約13,700人に対して、下写真のコンテナを60箇所に設置しており、24時間いつでも排出できる点と人目につかない点が好評です。

一方、人目につかないことから異物混入が課題とのことです。



写真) 大木町 提供

## 千葉県 松戸市

市内外5カ所の福祉施設や病院から回収し、リサイクル業者のサムズにて再生利用を進めています。まず、分離機に投入して高分子吸収材の除去や殺菌、漂白を行い、紙パルプとプラスチック等に分解します。

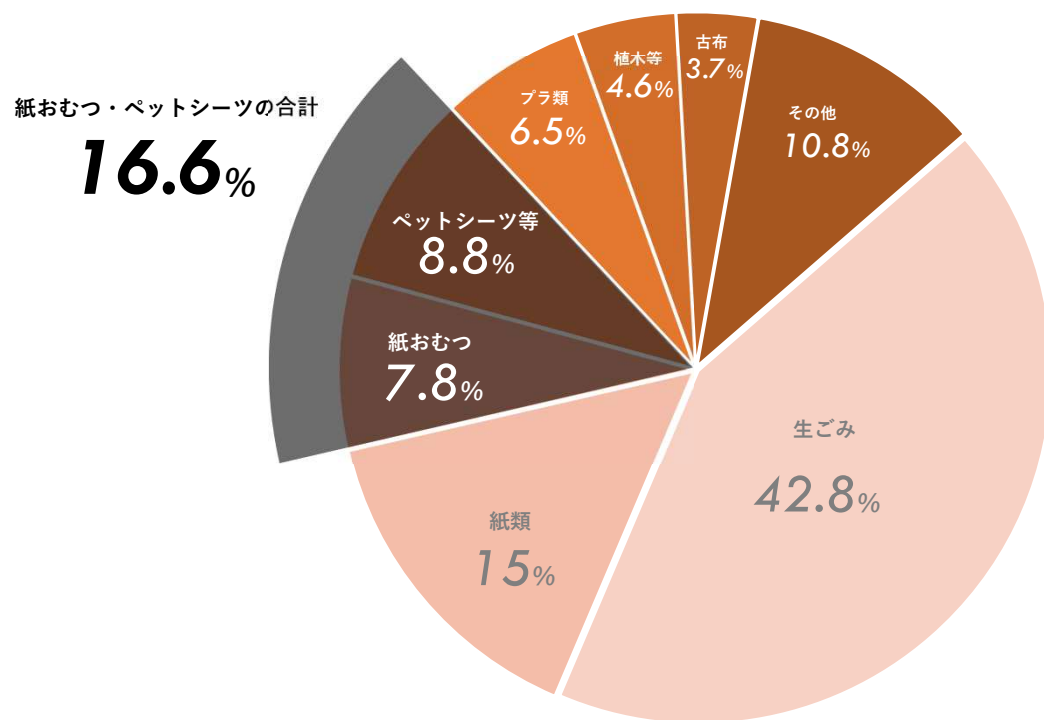
その結果、紙パルプは段ボールに、プラスチックは固形燃料として生まれ変わります。



写真) 松戸市 提供

# 本町の状況①

## 紙おむつ等が占める割合



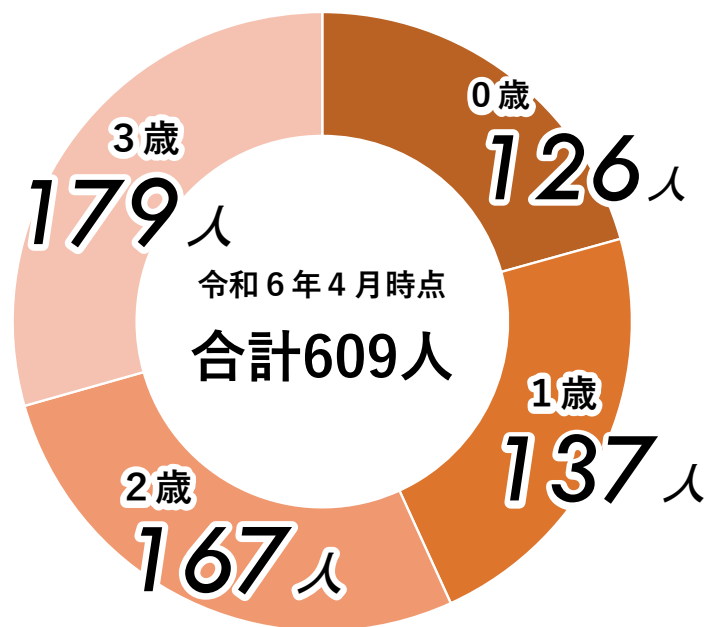
### 組成分析調査によると

令和6年3月に実施した家庭系可燃ごみ組成分析調査によると、紙おむつ・ペットシーツは全体重量の16.6%を占めています。

また、国の調査によると2030年頃には子ども用は減少し、大人用が大きく増加する見込みであることから、今後さらに割合が増えると推計されています。

## 本町の状況②

### 子ども用紙おむつ使用者と排出量（推計）



使用前の重量 30g / 1枚  
し尿を吸収して 4倍に  
使用後の重量 120g / 1枚

使用済子ども用紙おむつ年間排出量  
= 1日あたりの紙おむつ使用重量 (1枚あたり重量 × 1日あたり使用枚数)  
× 紙おむつ使用後の重量増加率  
× 紙おむつを使用している子どもの数 × 365日  
= 30g × 5枚 × 4倍 × (0~3歳人口) × 0.9 × 365日

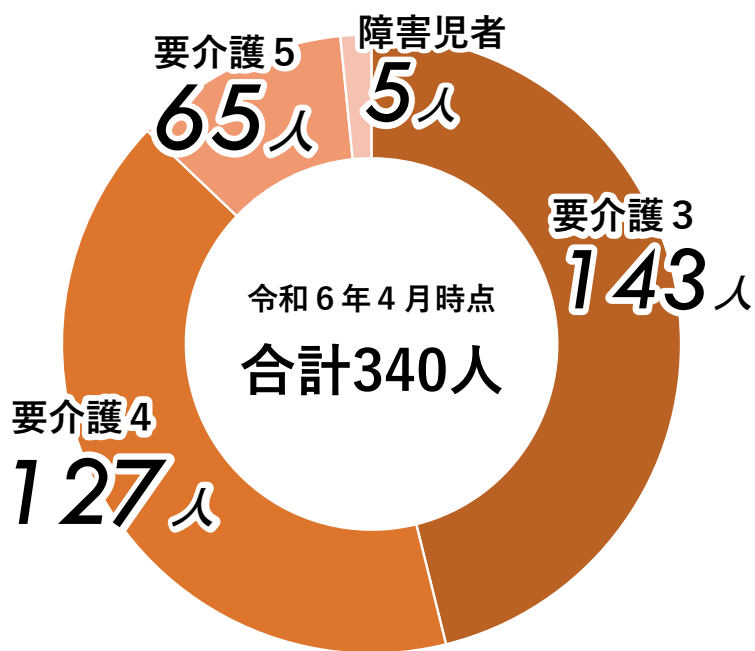
約120t  
年間排出量（推定）





## 本町の状況③

### 高齢者・障害児者 紙おむつ使用者と排出量（推計）



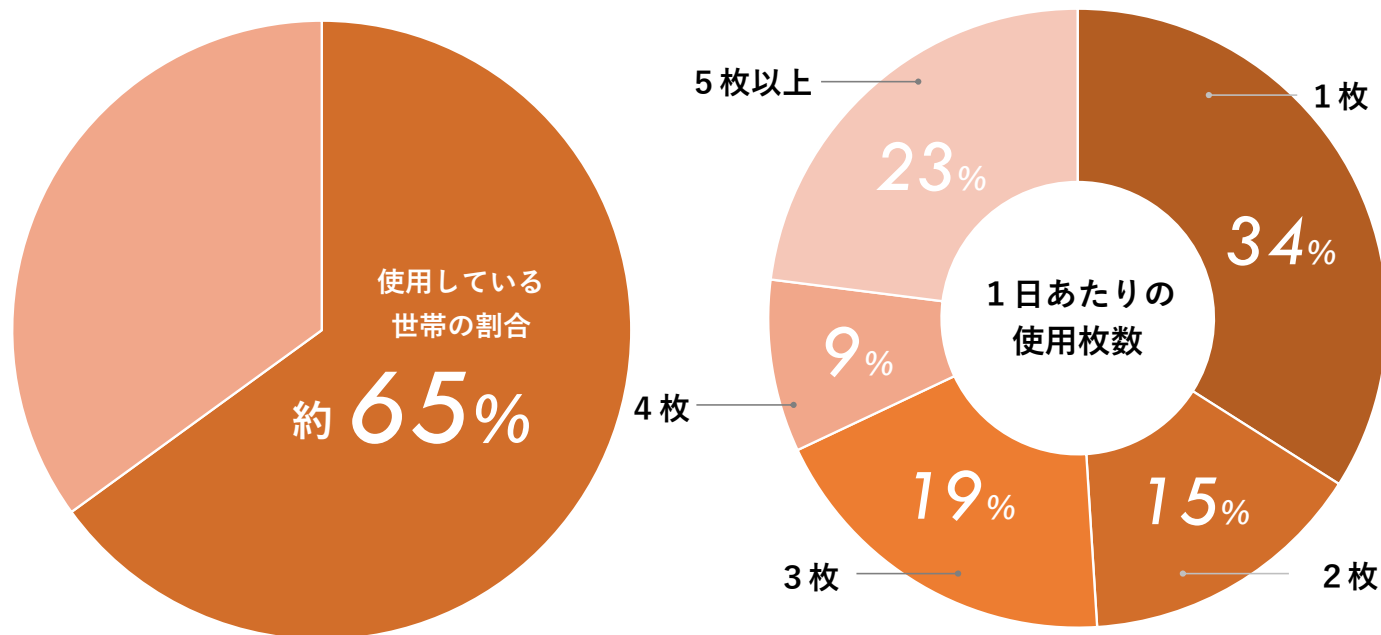
使用前の重量		し尿を吸収して	使用後の重量
52g	84g	4倍に	1168g
パッド	アウター		パッド4枚 アウター1枚

使用済大人用紙おむつの年間排出量  
 = 1日あたりの紙おむつ使用重量 (1枚あたり重量 × 1日あたり使用枚数)  
 × 紙おむつ使用後の重量増加率  
 × 紙おむつの使用者数 × 365日  
 = 292g × 4倍 × (要介護3～5の認定者数 + 障害児者) × 365日

約**145t**  
 年間排出量（推定）



## 本町の状況④ ペットシート使用者（推計）



### 使用世帯（参考）

4/21～23に実施した狂犬病予防 定期集合注射 全7会場において、聞き取り調査をした結果は、264世帯のうち160世帯とわかりました。

### 1日に使用する枚数

置いているが散歩先ですのためほぼ使用しない、雨で散歩に行けない時に限り使用するといった世帯が多く、1枚が54世帯と一番多い結果となりました。

## 当町の状況から分析した 課題を解決するために

### 保管の課題

容器の貸与や  
購入費補助金

いつでも出せる  
拠点回収

+

### 収集の課題

拠点 or 戸別  
収集方式

直営 or 委託  
収集体制

+

### 処分の課題

資源化の  
可能性

広域連携の  
可能性

## 今後の予定(案)

### 保管の課題を特定

『生ごみ分別収集 先行町内会』において、紙おむつ等の試行収集（拠点回収・登録制戸別収集）と保管容器の要望調査を行います。

### 収集-処分の課題を特定

全町で紙おむつ等の収集を行う場合には、どのような方式で収集するのが適切か、そのために何をすべきか令和7年第二回定例会でお示しします。



### 視察と資源化協議を報告

令和6年8月～11月までに『福岡県大木町へ拠点回収の視察』と『紙おむつリサイクル推進協会に対し資源化を目指した協議』を行い、その結果を令和6年第四回定例会で報告します。

### 保管の解決策を報告

紙おむつ等の試行収集の報告と、保管容器の貸与・補助等制度について、令和7年第一回定例会で報告します。

### 収集-処分の解決策を報告

収集を行う場合には、遅くとも令和7年第三回定例会において、直営または委託か、どのような体制で収集するか、どのように資源化するか報告します。

全てのタスクを完了し、安定的な運用へ

# 分別収集体制を構築します

戸別か拠点か。直営か委託か。現時点での最善策を見つけます。

# 資源化に挑戦します

紙おむつの資源化はもちろん、前例のないペットシーツの資源化を目指し、社会発展に貢献します。

